

びろっば

Vol. 458 2024.

9

日本老年看護学会 第29回学術集会

画像診断部 3Dラボチーム立ち上げ

~Newシリーズ~

アメリカ臨床留学レポート



5年ぶりに復活、
よさこいチーム「ちかもり」

表紙の写真

日本老年看護学会 第29回学術集会

老年看護のしんか

—進化・深化・真価—

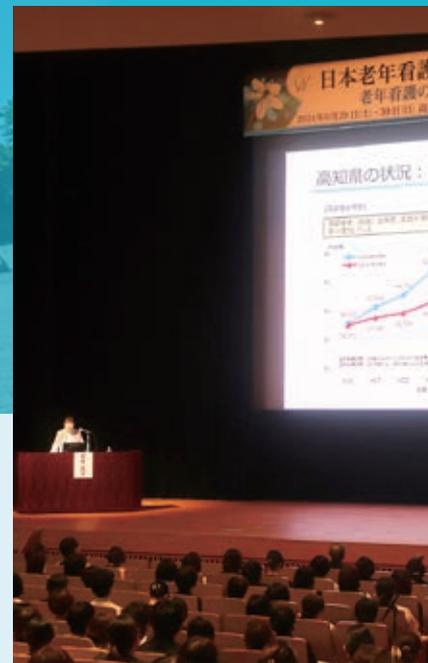
6月29日(土)・30日(日) 高知市文化プラザかるぼーと

社会医療法人近森会 統括看護部長 **岡本 充子**
おかもと じゅんこ

2024年6月29日・30日、日本老年看護学会第29回学術集会の会長を務めさせていただき、全国から1,500名を超える皆さんに参加していただき、盛会に終了することができました。

学術集会のテーマを「老年看護のしんか —進化・深化・真価—」とし、特別講演や教育セミナー、シンポジウムなどを通し、それぞれの“しんか”について考える機会になったのではないかと思います。コロナ禍を経て、完全対面での学術集会ということで、久しぶりに対面でディスカッションでき、参加された方たちが生き生きとした顔をされていたことが印象的でした。懇親会も企画し、皿鉢料理を始めとした高知らしいお料理に、地酒やワイン、よさこいチームによるよさこい披露で楽しい時間を過ごし、最後は参加者が一緒になってよさこい踊りを踊って盛り上がりました。

学術集会開催にあたって、さまざまにご協力いただきました皆様に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。



口演発表

訪問看護ステーション 近森病院看護



ポスター発表



ポスター会場の様子。近森病院からは

会場展示



多くの企業にご協力いただきました。

Program

6月29日(土)

会長講演

老年看護のしんか —進化・深化・真価—

演者：岡本 充子 (社会医療法人近森会 統括看護部長)

特別講演1

高齢社会に対応したチームビルディング

—みんながハッピーな

いきいきとやりがいをもって働くチーム医療—

座長：岡本 充子 (社会医療法人近森会 統括看護部長)

演者：近森 正幸 (社会医療法人近森会 相談役) ※写真上

6月30日(日)

ランチョンセミナー3

1人ひとりに合った心不全在宅療養をチームでつくる

座長：竹下 昌宏 (特定医療法人竹下会 竹下病院 院長/近森病院 非常勤医)

演者：和田 絢世 (近森病院 看護師 主任)

橋田 芳恵 (近森病院 理学療法士 主任)

間 梨奈 (近森病院 管理栄養士)

松田 有加 (近森病院 薬剤師) ※写真中央

ランチョンセミナー4

精神症状や行動異常を呈する高齢者の

診たてに抱く違和感を解決しよう

—頭部CT画像の情報を臨床推論に活用する—

座長：松永 智香 (近森リハビリテーション病院 看護部長) ※写真下



特別講演1



ランチョンセミナー3



ランチョンセミナー4



シヨンちかもり看護師長 山本詩帆(上)・
師長 池島真由美(下)が発表。



看護師 明神拓也、看護師主任 小松有希が発表。



出張

MICS2024に出席して

2024年6月14~23日/イタリア

社会医療法人近森会 理事長 入江 博之

いりえ ひろゆき



(写真1)学会に誘ってくださったファトゥーシ
工教授(イタリアパレルモ大学心臓外科)

もうひとつの“MICS”

通常MICSという略語は、小さい傷で行う心臓手術のことを意味します。しかしながら、カテーテルで行う心臓治療が発達してきた現在となつては皮膚の傷の小ささとしてはカテーテルに負けています。今回の学会はMinimally Invasive and Catheter Solution (小切開とカテーテル的解決)といい、同じ頭文字をうまく活用した学会名となっています。昨年、川崎幸病院川崎心臓病センターの高梨 秀一郎先生を通してファトゥーシエ (Khalil Fattouch) 教授(イタリアパレルモ大学心臓外科、僧帽弁形成術で高名(写真1))に誘っていただきました。開催場所は最初ローマだったのですが、直前になってイタリアのプーリア州(Puglia)の州都バーリ(Bari)に変更になりました。ブーツの形をしたイタリアのかかとに当る部分でアドリア海に面した古い町です。ちょうど1週間前にサミットがここで開催されました。



約4,000床を有し入院患者年間14万人の病院グループ

ローマのつもりでしたので、ローマの病院見学も合わせて予定を立てました。訪ねた病院はGVM CARE & RESEARCHというイタリアの大きなヘルスケアグループのローマにある心臓病院です(写真2)。このグループは1973年に創設され、イタリア国内で30以上の病院や施設を、更にポーランドやフランス、ウクライナ、アルバニアにも施設を広げた大きなヘルスケアグループです。合計約4,000のベッドがあり年間14万人の入院です。心臓胸部手術は約6,000例、カテーテル治療が約5万例以上、整形手術が3万例以上といった大規模のヘルスケアグループです。訪ねた病院はバチカンのすぐ西にある心臓手術をやっている施設です。バチカンに近いせいか病院の正面に入るとすぐにチャペルがありました。設備は近代的で、とても立派な病院でした。



(写真2)心臓病院Ospedale San Carlo di Nancy。病院に入るとすぐにチャペルが正面にあります。さすがバチカンのすぐそば。

規制が少ないヨーロッパならではの多彩な発表が多い学会

さて学会ですが、バーリ市内のホテルが会場でした。初日は大動脈弁と三尖弁、2日目が僧帽弁のセッションでした。TAVIの件数は、イタリアはまだ日本には及ばないものの大変アグレッシブで、特にバーリ出身のドクターが、「重症大動脈弁狭窄症は5年死亡率が中等症と重症で57%と63%とあまり変わらない、病態としては中等症がいつ重症に悪化するかわからないので、もう中等症の段階から治療を考えるべきだ」と強調しておられました。2日目は主に僧帽弁の話で、僧帽弁のカテーテル治療、また小さな切開で行う治療、そして人工腱索を心尖部から入れるイタリア発の治療など、多彩な発表がありました。大変実りの多い学会出張となりました。

ローマではスリに気をつけるとよく言われましたが、バーリは地方都市のせいか、夜10時頃でも子どもたちが広場で遊んでいました。めったに行く機会のない、アドリア海側の城塞都市も興味深かったです。

学会受賞



初期研修医 2年目
佐々木 康介 ささき こうすけ



第70回 日本呼吸器学会中国・四国地方会
初期研修医セッション **優秀演題賞** 受賞

演題 病歴と喀痰塗抹所見より、適切な治療導入が行えた
Acinetobacter baumannii による市中肺炎の一例

資格取得

European Examination
in Core Cardiology

※ヨーロッパで、循環器知識を保証するような試験に合格しました!

近森病院 循環器内科 科長 菅根 裕紀 すがね ひろき



画像診断部 **3Dラボチーム** 立ち上げ 2024年6月3日~

画像診断部 診療放射線技師 佐野 寿人 さの ひさと



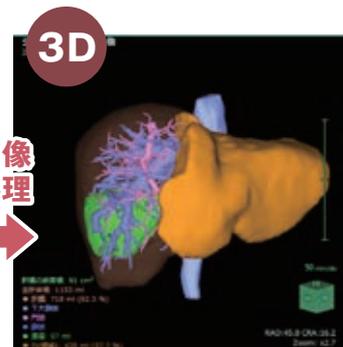
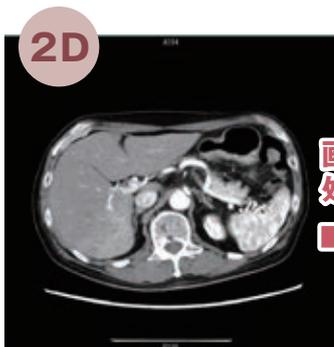
後列左端より筆者、田中キャプテン

近年CTの進歩に伴い、画像解析システムの技術も向上しており、以前に比べて3D画像の構築が普及してきました。

以前までは一般的な画像処理を行う解析班が3D画像の提供も行っていましたが、頭部動脈瘤の手術支援画像作成の依頼をきっかけに、術式などの理解が必須と考え、専門性を高める目的で「3Dラボチーム」を編成しました。

最近では肝臓切除術の手術支援画像、学会用3D画像などの依頼もあり、チームでカンファレンスを行い3D画像の構築をしています。今後も各科医師の要望に応じていけるように解析班と連携を取りながら診断・手術支援に有用な3D画像を作成していければと考えています。

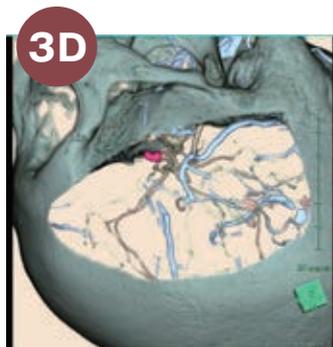
『こんな画像がほしい』、『こんな画像ができたら有用だ』などなど、3Dラボチーム・キャプテン田中までお気軽にご相談ください。



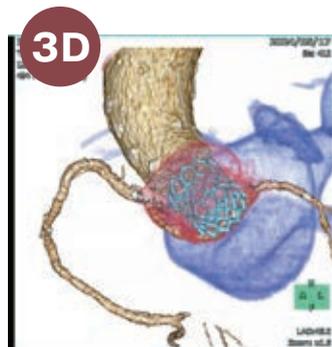
画像処理

2Dのモノクロ画像では、どれが動脈・静脈・腫瘍なのか・位置関係がどうなのかわかれないと判断が難しい。

肝切除術適応判断のための切除率推定。肝内門脈・肝静脈の走行・腫瘍位置の確認。



脳動脈瘤の術式や動脈・静脈の位置関係の把握。



TAVI後の方の冠動脈起始部異常の画像で、2Dでは位置関係の把握が難しいが3Dではよくわかる。

緩和ケアチーム 再編成

2024年7月1日～

緩和ケアチーム再編の 経緯とこれからの展望

近森病院 看護部長室
がん看護担当 看護師長

島田 いづみ しまだ いづみ



緩和ケアチーム(筆者:前列左端)

本年度より乳腺センター設立、化学療法センターの拡充、悪性疾患の手術件数の増加など、がん医療提供の充実に取り組んでおります。

その取り組みの一つとして、さまざまな病期にあるがん患者さんが抱える苦痛、不安、悩みの軽減、また根治が難しい方が今後どう過ごしたいかを考えるお手伝いができるように緩和ケアチームメンバーを再編成し、7月からチーム活動を開始しました。チームには、医師、認定看護師、専門看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカー、公認心理師、歯科衛生士が参加しています。

当院は、病棟常駐型チーム医療体制をとっているため、専門性の高いスタッフが豊富に病棟に配置されています。多職種で協働・連携をしながら、がん患者さんやご家族の意思決定を支援し、支持療法の充実を図り、安心して自分らしい生活が送れるよう支援していきます。



カンファレンスの様子



近森リハビリテーション病院
理学療法科 理学療法士
主任

江口 智博
えぐち ともひろ

理学療法週間イベント

2024年7月14日

～今年は近森会スタッフも企画から参加しました～

日本理学療法士協会では7月17日を理学療法の日と定めています。各県の県士会では、この日に合わせて理学療法について知ってもらうためのイベントを開催しています。

高知県理学療法士協会では7月14日に帯屋町、金高堂書店前にて「自分のカラダを知ろう」と題したイベントを開催しました。機器を用いた足の筋力測定や、体成分分析装置InBody(右写真)を用いた筋肉量・脂肪量などの計測結果を基に年齢平均との比較や運動の必要性などの説明を行いました。子供からご年配の方まで合計89名の方に参加いただき、大盛況に終わりました。私自身も測定し、結果を分析することで運動の大切さを今一度感じたところです。

皆さんも長い人生を楽しく過ごせるよう、未来の自分を大切にできる機会として「自分のカラダを知ろう」としてみてください。



HPVワクチンキャッチアップ接種、 9月までにお申し込みを!



近森病院 感染症内科 部長 石田 正之
いしだ まさゆき

子宮頸がん～若年女性の最多の癌～

HPV(ヒトパピローマウイルス)は人に感染する事で、特に女性において、子宮頸がんを発症させることが知られております。子宮頸がんは若年の女性の癌としては最も多く、世界で年間34万人の方が子宮頸がんで命を落としています。

定期接種時期を逃した方への救済策 ～公費で接種できます～

HPVワクチンは、接種をすることで、高い確率でHPVの感染を予防する事が可能で、感染を予防できれば、子宮頸がんの発症を予防する事が可能となります。

このワクチンは国の定期接種ワクチンになっており、接種対象は小学校6年生～高校1年生相当の女性となります。しかしながら一時期副作用の懸念から、積極的な接種勧奨が中止されていた時期があります。2021年にその懸念がない事が証明され、積極的接種勧奨が再開されていますが、その間に接種対象時期を過ぎてしまった方は、接種を希望しても、公費で接種ができない(このワクチンは通常費用で接種を完遂させた場合、最大10万円かかります)という現状がありました。そのため現在、

接種ができなかった1997年度生まれ～2007年度生まれの女性や過去にHPVワクチン接種を完了(完了するためには3回の接種が必要)できていない方を対象に2025年3月まで、公費で接種ができる、キャッチアップ接種を行っています。ただ残念ながら全国的にキャッチアップ接種の接種率が低いのが現状です。

この機会にどうぞ!

期間内に接種を完了するためには、1回目の接種を2024年9月以内に開始する必要があります。ご自身、もしくはご自身が対象でなくても、お子さん、お孫さん、知人の方に接種対象となる方がいる場合、ぜひキャッチアップ接種のご検討、キャッチアップ接種という制度がある事をお話いただけますと幸いです。

当院のワクチン外来でも、HPVワクチンの接種を行っていますので、お気軽にご相談ください。



公費で接種できるのは今年度まで。9月中に1回目の接種を!



院長ランチミーティング

近森病院

川井院長の発案で、4月からスタッフとのランチミーティングを行っています。ミーティングと言っても堅苦しいものではなく、日頃の思いや、これからの病院のことなど、院長と直接語りあう場となっています。院長とスタッフの距離が近い!近森病院の特徴です。看護部からスタートして、7月現在、21回、80人と一緒に食事をしています。



ファミリー高知より

百の風鈴「涼」を呼ぶ

社会福祉法人ファミリー高知／
高知ハビリテーリングセンター
橋本 竜太 はしもとりゅうた

今年の夏は例年以上に猛暑となりました。ハビリでは暑い夏を乗り切ろうと、およそ100個の風鈴に利用者さんが思い思いの模様やイラストなどを絵付けし、施設玄関前渡り廊下の天井に飾り付けました。

利用者さんからも「涼しげですね」「いい音ですね」など喜びの声を聞かせていただき、自分の作品を含め様々な作品を見上げ楽しんでいただけたと思います。風になびく100個の風鈴の音がひと時の「涼」を届けてくれました。



すまいる♡ナース通信 # 認定看護師

気づけば早12年

近森病院 本館6階B病棟西／
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
徳留 裕也 とくどめ ゆうや

2012年の病棟編成の際に、どんな病棟かもわからないまま新設されるSCU(*)を希望して、今では数少ない開設時スタッフとなりました。

それから今日まで脳卒中患者さんを中心に関わり続け、2022年12月より脳卒中リハビリテーション看護認定看護師として一般病棟に所属し、看護外来や脳卒中相談窓口などで退院後の患者さんへの支援や、ひろっぱ講座で啓発活動を行っています。今後は当院のような多忙な業務の中でも、いかに根拠に基づく看護ケアを標準化し、どのスタッフでも実践できるかを検討していきたいと考えています。

SCU休床となり、どの病棟でも脳卒中患者さんを見る機会が増えていると思いますが、わからないことがあったり興味・関心のある方はいつでも声をおかけください。

*SCU…脳卒中ケアユニット



シリーズ
イメージキャラクター
モリンちゃん



職員募集

3,000とおりの誇れる仕事

詳しくは、近森会グループHPの採用ページをご覧ください。



募集職種

- 医師
- 言語聴覚士
- 看護師
- 薬剤師
- 介護福祉士
- 診療放射線技師
- 救急救命士
- 臨床検査技師
- 理学療法士
- ソーシャルワーカー
- 作業療法士
- 事務

PSサポーター同窓会開催

2024年7月12日

近森病院 理学療法科 科長補佐
山口 眞美 やまぐち まみ

接遇からPS(参加者満足)の向上などの職員研修を以前までお引き受けいただいた外部講師、江藤かをる先生をお招きし、PSサポーターの同窓会を開催しました。

久しぶりにお会いして相談にのっていただいたり、それぞれの近況報告やメンバーのサプライズの昇格祝いをしたりと大いに盛り上がり、3時間半に及ぶ同窓会は熱を帯びたままお開きとなりました。PSサポーター全体での活動は2018年で一旦終了となりましたが、個人での活動は自部署でのマナーや接遇の



前列右から4人目が江藤かをる先生、筆者はその後ろ

指導、PS委員会の立ち上げなどできる範囲で継続しています。今後もそれぞれの持つ専門性とPSの活動を通じて身につけたパワーの二刀流で、PSサポーターが活気ある職場作りの一端を担うことができればと思います。



初めての日本の夏

今年6月に来日したインドネシア人スタッフに、浴衣や花火大会など、日本の夏を楽しんでもらいました。

手足のスタンプで作ったよ! 保育室「そると」の応援ポスター



ラスト!

11枚目

全11枚

書籍紹介



近森会 岡本統括看護部長が一部寄稿した書籍をご紹介します。

『看護管理者が進める地域療養支援ガイドBOOK』

病院主体の入退院支援から地域ぐるみの支援へ
-地域とつながる外来看護が鍵!-

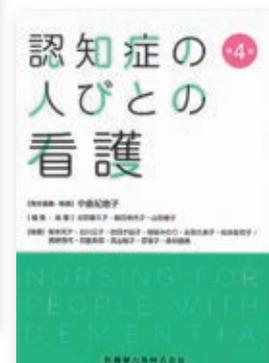
発行/2024.6.27、メディカ出版

『認知症の人びとの看護』

発行/2024.7.10、医歯薬出版 第4版



好評発売中!



Newシリーズ

リウマチ・膠原病内科の吉田先生がアメリカ・ボルチモアに留学中です。
今月より、現地の近況や医療情報などをレポートします。



●ボルチモア

アメリカ合衆国東部の大西洋岸、ワシントンD.C.に隣接するメリーランド州の都市。ワシントンD.C.までバスや列車などで小1時間。

こんにちは。ボルチモアに着いてから約3週間が経ちましたが、留学先での近況についてご報告いたします。

全米最高ランク! Johns Hopkins大学病院

留学先であるJohns Hopkins大学病院は全米最高にランクされる施設であり、Johns Hopkins大学病院およびその関連施設を合計すると病床数は1,900床、勤務する医師・研究者数は2,400名、従業員は合計2万2千人が勤務しているとされます。私が勤務するリウマチ膠原病内科は、20年連続で全米トップにランクされており、今年も、同科の臨床フェロー4人のポジションに180人が応募しており、全米で極めて高い競争を勝ち抜いたエリート中のエリートが入ってきます。

私はadvanced fellowという通常のフェローよりもより専門的で研究的な色が強いポジションで留学しており、同じ立場のフェローが私を含めて4人、つまり合計で8人のフェローでスタートを切りました。尚、advanced fellowとして留学するには米国医師国家試験であるUSMLE step 3まで合格していることに加え、

臨床及び研究で優れた成果が認められることが必要となります。

専門分野を究める ~リウマチ・膠原病の画像診断~

私自身は関節リウマチや炎症性筋疾患といったリウマチ性疾患の画像診断を主に担当し、この分野のリーダーの一人であり、Johns Hopkins大学リウマチ膠原病内科のプログラムディレクターであるJemima Albayda医師とともに日常臨床および臨床研究に取り組んでいます。Albayda医師とは数年前から共同研究者として仕事をしており、この異なる環境にも比較的スムーズに入っていくことができました。

スタッフの皆さんへ

ここにたどり着くまでにはこの紙面には書ききれないような沢山の高いハードルがありましたが、こうして留学を実現するまで支えてくださった川井院長、公文部長をはじめ、多くのスタッフの皆様へ感謝したいと思います。



▲ Johns Hopkins大学 本院の正面入り口。

今年度のスタートを切ったリウマチ膠原病内科のフェローと指導医、スタッフの方々との集合写真。筆者は最後列右端。



近森病院附属看護学校 新作動画

ただいま帯屋町ビジョンで放送中!
学生さんと一緒に作りました。
どうぞご覧ください!





よさこい祭り

今年のテーマは
"黎明"

2024年8月10・11日





ちかもり



5年ぶりによさこいの舞台に戻ってきたー!!



チームちかもり
2024 代表/
危機管理部
災害対策室 室長
楠瀬 達也
くすのせ たつや

昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類になり、院内行事も感染対策を講じながら、徐々に再開する中、よさこいチーム“ちかもり”も、念願の復活が叶いました。

今回は初参加の方が多く、振りを覚えるのに大変苦戦していましたが、本祭当日はみんなが綺麗でかつ、ダイナミックな踊りを披露することが出来ました。観客の皆さんに“ちかもり”の踊りで、元気に過ごせることの素晴らしさ、大切さを少しでも感じていただけたのではないのでしょうか。

最後に素晴らしいチーム作りにご協力くださった業者や協賛企業の皆様、“ちかもり”を応援してくれた地域の方々や職員の皆さん、祭りに参加してくれた踊り子・ふらふ衆、チームを支えてくれたインストラクターやスタッフに大変感謝しております。ぜひ来年以降も続けて参加できることを願っています。



がん患者さんの抗がん剤治療をサポートする 漢方薬 〈其の6〉

近森病院 糖尿病・内分泌内科 部長 浅羽 宏一 あさば こういち



補中益気湯 (ほちゅうえきとう)

前回に引き続き、食欲不振に対して用いられる漢方薬の話します。食欲不振だけではなく全身倦怠感(特に手足がだるい)、風邪の引きやすさ(免疫力の低下)が生じた場合は補中益気湯を使います。

六君子湯を服用する患者さんよりもより重症になった場合に用いる薬です。中(お腹を)補(補って)益(益々)気(元気にする)湯(薬、スープ)という名前の通りの薬です。前回ご紹介した六君子湯から茯苓と半夏を除き、免疫力を高める黄耆、皮膚の血流を良くして体を温める当帰、筋肉の緊張を高め手足のだるさをとる柴胡と升麻を加えると補中益気湯になります。



体を温めると免疫力が高まり風邪を引かなくなるので当帰は重要です。冷えは万病の元と言われますが、がんも冷えは良くありません。臨床研究では、①手術後に早めに離床して歩けるようになる、②肺気腫の患者さんが風邪を引きにくくなる、③病院職員がインフルエンザに罹りにくくなる、といった報告がなされています。

補中益気湯を服用する患者さんよりもより重症になった場合は、六君子湯と補中益気湯を併用します。

補中益気湯の薬能

- ◆ 甘草 (そうじゆつ) ... 消化吸収を高める
- ◆ 蒼朮 (そうじゆつ)
- ◆ 人参 (じんじん)
- ◆ 黄耆 (わうぎ)
- ◆ 当帰 (たうき) ... 血流改善作用
- ◆ 陳皮 (ちんぴ)
- ◆ 柴胡 (さいこ) ... 筋緊張を高める作用
- ◆ 升麻 (しょうま)
- ◆ 生姜 (しょうきやう)
- ◆ 大棗 (たいざう) ... 健胃

ハッスル研修医

昨日より成長した今日の自分に

初期研修医 1年目
秋澤 麗菜 あきさわ れいな



研修が始まり、早5ヶ月が経ちました。入職したての頃は、臨床の現場に出て患者さんをしっかり診察し治療方針を立てることができるだろうかという不安でいっぱいでした。現在は少しずつできることも増え、その不安も少し軽減したように思います。

私は呼吸器内科、消化器外科、麻酔科をローテーションさせていただきました。それぞれ治療や管理の仕方が違い、得られる知識や手技も異なりましたが、研修する上で共通して意識していたことは「今日できなかったことがあれば、明日はできるようにする」ということです。まだまだ医師として未熟で、自分の無力さに落ち込むこともあります。このことを意識することで、悔しさをバネに前に進むことができます。

指導熱心な先生方や多くの医療スタッフ、そして患者さんから多くのことを学び、日々医師として成長させていただける環境に感謝しながら、一日一日を大切に精進してまいります。

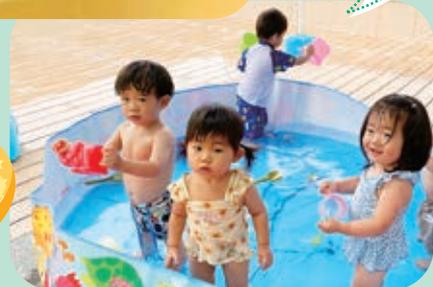
歳時記

保育室そるとプール遊び

夏真っ盛り、子どもたちはプール遊びに夢中。暑さに負けず、夏を満喫しましょう!



楽しく遊べました◎



栄養で支えるがん治療

近森病院 臨床栄養部

近森病院 臨床栄養部
管理栄養士
田部 大樹
たべ だいき



がん治療と善玉菌

今回は前回触れた食物繊維と少し関係のある善玉菌(乳酸菌などの細菌類)についてです。食物繊維と善玉菌を摂取することをシンバイオティクスと言います。

水溶性食物繊維と乳酸菌を摂取するシンバイオティクスと抗がん剤治療中の副作用の関連を調査した報告では、抗がん剤による下痢が抑えられました。また善玉菌の摂取は、抗がん剤治療中の口内炎の発症も減らしました。加えて大腸がんの手術において善玉菌の摂取は、術後の合併症の減少と関連することもわかっており、がん治療中には積極的に摂りたい成分です。

一度摂取した善玉菌は体内に居続けることはないとされていますので、毎日継続して摂取することが大切です。これらの善玉菌はヨーグルトや味噌、甘酒のような発酵食品に多く含まれます。朝食がパンであれば海藻やきのこを使ったサラダ、ご飯であればきのこがたくさん入った味噌汁などの副菜と一緒に召しあがることをお勧めします。またヨーグルトを食べたり、おやつを和菓子にして、和菓子と一緒に甘酒を飲むと効率よく善玉菌を摂取できると思います。



あなたからの「ありがとう」を伝える運動 - 第2弾 -

シリーズ第4回

四国管財株式会社の皆さんへ

※全投書より一部抜粋

● 清掃の皆さんへ

- ♥ 物が多くて掃除が大変な所をいつもきれいにしてくれてありがとうございます。
- ♥ 皆さんのおかげでいつも気持ちよく過ごせています。急な清掃依頼にも対応していただきありがとうございます。
- ♥ 朝早くから、また厨房では遅い時間に作業していただき、キレイな作業場で業務ができます。

● ベトナムから来てくれている皆さんへ

- ♥ 遠い国まで来て仕事を頑張ってくれています Cam on ban

● フィンさんへ (上写真、後列の右から4人目)

- ♥ いつもお会いする度に明るい笑顔であいさつしてくださって、元気をもらっています。

● そるとの保育士・スタッフの皆さんへ

- ♥ いつも子どものお世話をしてくださりありがとうございます。おかげで安心して仕事に取り組むことができます。忙しくてあまり家で遊んであげられていませんが、そるとでたくさん遊んで学んで、いっぱい成長している姿を見ると嬉しくなります。これからもよろしく願います。




 リレーエッセイ

家の次に好きな場所

 近森リハビリテーション病院
5階病棟 看護師
山本 真由 やまもと まゆ

私には「uffington」というお気に入りのカフェがあります。アイスやアフォガート、ブラウニーなどのメニューがあり、中にはコーヒーが目当てで来店されている方もいますが、私はこのお店のパフェが好きで、少なくとも月に1回、多いと月に3回程は通っています。

このお店では、通常メニューであるチョコと抹茶に加えて、期間限定としてフルーツがメインのパフェが月に1~2種類ほど登場しており、どのパフェも美味しいのはもちろん、見た目が可愛いものや綺麗なもののばかりで、いつも感動しています。



お店の雰囲気とお店の方の人柄も素敵で、いつもカフェや音楽など様々な話に花が咲き、つつい長居をしてしまうほど居心地も良く、いつの間にかすっかりこのお店の虜になっています。

高知駅の横通りと病院からも近く、イトインだけでなく、テイクアウトできるお菓子や飲み物もあるため、気になった方はぜひ行ってみてください！


 私の趣味

心臓ラブ

臨床検査部 臨床検査技師

西添 ありす にしぞえ ありす

私は昔からおもしろい物を集めるのが好きで、今は心臓モチーフの物を集めている心臓マニアです。何と言っても心臓の見た目が可愛くて好きです。写真は一目惚れして買ったお気に入りのキーホルダーです。

いつか、心臓のキーホルダーやアクセサリなどを自分で作り、可愛い心臓に癒されながら仕事を頑張ろうと思います。

昨年、近森病院で開催された心臓血管ウエットラボに参加しました。豚の心臓でしたが、初めてリアルな心臓を見てワクワクが止まりませんでした(笑)。

そんな私の目標は、心臓のプロフェッショナルになることです。

心エコーを通して、立体的な心臓をイメージできるようになりたいです。しかし、日々検査をする中で、勉強不足であることを痛感してまだまだ道のりは遠いです。これからもっともっと心臓に詳しくなれるように経験を多く積み、心エコーの技術を磨いていきたいです。



FREE 私のまるまる〇〇にフリーワードを入れて語っていただきました

私の「プチ贅沢」

臨床工学部 ACEチーム

北川 寛久 きたがわ のりひさ

食べることがもっぱら好きな自分ですが、最近ハマっていることといえば、休みの日に妻と一緒にランチ(プチ贅沢)です。

写真は近森病院近くにある「Queue de baleine(クロー・ドゥ・バレーヌ)」というお店のタイのムニエルです。

ホール担当の気さくな女将さんと、料理担当の寡黙な(挨拶するとニコッと挨拶を返してくれる)マスターがいる小さな鉄板焼きの洋食料理のお店で、居心地が良く、週替わり・日替わりランチはリーズナブルにもかかわらず、どの料理も絶品で、特にソースの味が最高のおすすめのお店です。(といつつ隠れたお気に入りにはマッシュポテトなんですけどね(笑))

他にもコロナに負けずひっそりと経営を続けているお店を探しては、休みに車を走らせ「プチ贅沢」を楽しんでいます。

皆さんも是非、自分たちだけの「プチ贅沢」を探してみてください！



近森
相談役の
ぶらり
旅

熊野三山の熊野速玉大社が前世の罪を浄め、熊野那智大社が現世の縁を結び、熊野本宮大社が来世を救済するといわれ、古くから上皇はじめ多くの人たちが祈りの道・熊野古道を歩いて訪れました。

ちなみに、1998年にはある巡礼の道と姉妹道提携を結び、巡礼の魅力を世界に発信していますが、その巡礼の道はどこでしょうか？（答えは12ページの下）



世界遺産 熊野三山・熊野古道巡り



熊野速玉大社



熊野那智大社



熊野本宮大社



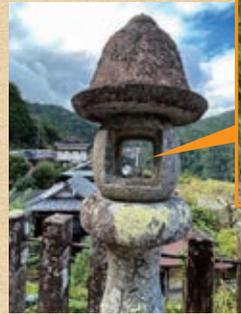
熊野川河岸の柱状節理が発達した岸壁。かつては本宮から川舟で新宮へ下り那智をめざした。



熊野古道大門坂



熊野那智大社・大樟(オオクス)胎内くぐり



那智山青岸渡寺、石灯籠の向こうに那智御滝が見える。

9/21(土) 開催!

第7回 近森病院附属看護学校 学園祭開催

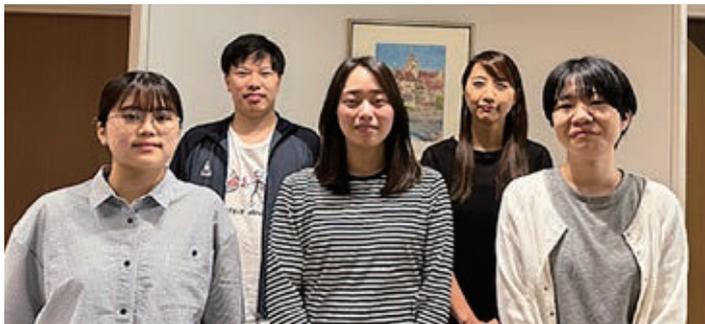
近森病院附属看護学校 2年生 小森 あすか こもり あすか

9月21日(土)に第7回近森病院附属看護学校学園祭が開催されます。

今年のテーマは、「Rise As One 一つになって立ち上がろう」です。チーム医療の実践、地域連携を担う看護師を目指す近森看護学生として学内から団結力を育むことを目的にこのテーマに決定しました。各学年で企画から演出まで行い、屋台では焼きそば、唐揚げなどのご飯系からスイーツ系まで幅広く用意しています。

また、医師である学校長の健康相談、脱出ゲームやバザー、縁日のブースではスーパーボールすくいなど子どもから大人まで楽しんでいたけるよう様々な工夫をしています。

ぜひ、ご来場ください。



学園祭実行委員メンバー(2年生)

編集室通信

職員旅行が復活した。計画時から自己負担金次第だという意見が多かったが、正にその通り、無料や安価なコースが人気だ。子供の学校があるので高くても休日に行きたいという声もあったが、今は少数派となったようだ。普段は忙しい、人は出せないと厳しい部署も、職員旅行はどうにかなるから実に面白い。 にゃ〜ご

診療数

2024年7月

— 電子カルテ管理課 —

● 近森会グループ

外来患者数 17,626人
 新入院患者数 1,142人
 退院患者数 1,102人

● 近森病院(急性期)

平均在院日数 12.21日
 地域医療支援病院 紹介率 100.66%
 地域医療支援病院 逆紹介率 279.16%
 救急車搬入件数 630件
 うち入院件数 312件
 手術件数 586件
 うち手術室実施 360件
 うち全身麻酔件数 252件

看護学校通信

森本志保

Shiho Morimoto

近森病院 看護部長
認定看護管理者

聞き手／ひろっぱ編集部



才能の花よ咲け
皆を支えて輝かせる
リーダーに

今年4月から近森病院の看護部長としてスタートを切った森本看護部長。「約10年にわたり、看護教育に携わった自分らしい在り方で進めていきたい」と穏やかに、物腰柔らかに語っていただいた。

学びながら働くために近森病院へ

新卒で就職した高知大学附属病院で8年間働いた後、看護以外の学びに興味を抱き高知短大(夜間課程)への進学を決意。近森病院は、短大のある永国寺に近いので、仕事をしながら通えると思い転職を希望した。とはいっても、入学したのは近森に就職して1年後。まずは仕事に慣れ、周りに迷惑をかけないような体制を整えてから挑戦した。

背中を押され大学院へ

短大卒業後には、通信で大学卒業資格を取得。取得後のタイミングで、当時の師長であった現近森リハビリテーション病院の松永看護部長に大学院進学を勧められた。大学院では看護管理学を専攻し、2014年に認定看護管理者の資格を取得した。「私は、部下のモチベーションを上げるのが得意な松永部長や、日本の専門看護師の先駆けである岡本統括看護部長など、良い師長に



左から、岡本統括看護部長、森本部長、松永部長、吉永看護DX推進部部長(前看護部長)。

恵まれたおかげで楽しくステップアップができました。師長との関わり方により看護師の業務の在り方や意欲、楽しさが左右されると思います」と、看護部長として中堅看護師のキャリア教育という視点から語られた。

植物に囲まれた暮らしを楽しむ

自宅の庭には季節の花を植え、家の中にも常に花を飾るという植物に囲まれた暮らしを楽しむ。また20代からずっとお花(小原流)のお稽古を続けている。数年前から免状を取ることを勧められ、現在は一級家元脇教授を持つ。基本の型に沿いつつ、同じ花でもどこに置き、どの方向を見せるかで魅力が変化するのがお花のおもしろいところだと言う。「お花に向き合うと、心にゆとりがうまれて私には大切な時間です。それに仕事につながることもあって…。人の特技や魅力も配置などでより活かせることがあるので」とニコリ。さすが教育に長年従事してきた部長らしい言葉だ。

一番好きな花は百合。満開より咲きかけが好きだとか。「どんな風に咲くのかな」と思いつくのが楽しいという。看護部長室にある満開の胡蝶蘭も、管理が大変といわれるが…。「最初はつぼみすらなくて。毎日お世話を続けて、つぼみができ、花が開いていく様子は見ていてワクワクしました。



実は、吉永前看護部長から引き継いだ胡蝶蘭なんです。近森病院の看護部も胡蝶蘭と同じように、花咲く未来が重なった。

休日はゆったり休息を

幸せだと思うのは、寝ること、食べること。時々友人や夫の職場の方が自宅に来てBBQなどをすること。

仕事では、判断を求められることが多いからこそ、休日はゆったり過ごし、心に余裕を持つことを大切に。「そうやってバランスを保っていますね。夫からは少し掃除をし過ぎと言われるけれど、庭や家を手入れすることも、リフレッシュになっていますね」。オンとオフの切り替えが上手な一面が見えた。

強いリーダーシップではないけれど

学生時代は目立ったり、人前に出たりするのは苦手な方だった。看護部長を受ける時も迷いがあったが、「自立度の高い優れた師長メンバーが揃う今なら」と引き受けた。

「私は強いリーダーではないけれど、支えることでリーダーシップを発揮していると思っています」。温厚な雰囲気の中に、ブレない芯の強さが見え隠れする、女性としても憧れの要素を持っている方だ。

穏やかに、微笑みを絶やさず話す森本部長に今後の目標を聞いた。「近森病院の看護部が少しでもいい方向に進むように、そして、個々の看護師の人生設計やキャリアを大切にしたい」と。数年にわたり、看護教育に関わってきた森本部長ならではの緩急のある手腕で、これからも多くの看護師の才能の花を咲かせていきたい。

